

～行動を起こせる人になる～

ガーナは今の時期季節の変わり目です。前号ではハマターンの事をお伝えしましたが、そのハマターンもいよいよ終わりなのか、このところ吹く風が水分を含んでいる風に変わってきたように感じます。数日のうちに大雨が降りそうな予感です。現在、去年の12月9日の土砂降りの雨以来、雨が降っていない状況です。季節の変わり目を知らせる雨が降ると雨季に突入します。日本の雨季とは違い、毎日しとしとと降る雨でなく、急に天気が変わり激しい雨が降るのがガーナの雨季の雨なのですが、ここ数年、日本の梅雨のように1日しとしと降る雨の日もあります。ガーナにいながらにして地球の気候変動というのはこういうことなのかと感じています。

先月(1月)に話が遡りますが、日本のニュースで思わず「良かった！！おめでとう！！」とタブレットを見て声をあげて喜んだニュースがあります。常磐線の電車の中で赤ちゃんが生まれたニュースです。その後、この出産は具合が悪くなった女性に気づいた一人の女性のおかげで、電車内で無事に出産できたことを知り「わぁー、本当にありがとうございます。」とまた声をあげて改めて喜びました。産気づいた女性に気づいた女性の「大丈夫ですか。」この一言。そしてその後の行動。私はこのニュースを心から喜び、声掛けした女性の行動力を見習いたいと思いました。さらに遡ると、12月に高校生が用水路に転落した高齢者を救助、介抱したニュースや、高校生が火事の現場から高齢者を救助したニュースなど、本当にこの行動力に感心してしまいます。はたして、自分だったらこうした行動を起こせるのだろうか。明らかに具合の悪い面識のない人に「大丈夫ですか。」と言う声掛けができるのだろうか？車両を変えてしまうのではないか？などなど考えてしまうのです。高齢者を救助した男子高校生の行動力を自分に置き換えてみても、自分にはできるであろうか？見て見ぬふりをしてしまうのでは？などなど考えてしまうのです。

行動を起こせる人になる。目標がまた一つ増えました。

2018年2月11日
スプートニクガーナ
国分敏子

ガーナ挨拶 No13